

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/05号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

債務上限引き上げ延長合意

SPDR Gold Shares円建価格

ゴールドとドルインデックス



一進一退の動きが続いています。短期的には投資家心理は日替わりのように揺れ動いています。先週末の米国の債務上限引き上げに向けての合意の発表から、先週は議会でも無事法案が通過しバイデン大統領が3日に法案にサインをして債務上限の適用を2025年1月まで停止する法案にサインし、5日せまった資金枯渇にぎりぎり間に合い、米史上初の債務不履行は避けられました。この動きを前にマーケットはすでに合意を見越してゴールドは下落していましたが、その通りになったことによる材料出尽くし感もあり、週半ばからは買戻しが優勢となりました。それに加えてFRB理事たちの6月の金利上げの休止を主張する声が報道され、それもゴールドの買いの材料となり、金曜日にはゴールドは1980ドルを超えてふたたび2000ドルへの声も聴かれました。しかし、それに冷や水を浴びせたのが米雇用統計でした。NFPの市場予想は19万人増というものでしたが、発表された数字は33.9万人増と大幅に市場予想を上回るもので、米国の雇用市場が非常に強いものであるということで、これはFRBの金利上げを推し進める材料として受け取られ、ゴールドは1980ドルから1950ドル割れまで売り込まれて一週間が終わりました。一つ一つの経済指標によって猫の目のようにマーケットのセンチメントは変わります。ただ、年初からマーケットが予想してきた年内の金利下げ見通しが薄れつつあり、6月のFOMCでは金利据え置きとなったとしても、インフレ率の目立った低下がないようであれば、6月以降まだこれからの金利上げも考えられるとマーケットは織り込みつつあり、それがゴールドの逆風となつて2000ドル回復を阻むものとなっています。逆にゴールドのサポート要因としては、WGCの中央銀行アンケートで明らかになったように24%に当たる中央銀行が今年ゴールドの購入を考えているという結果があります。これと地政学リスクがゴールドを支えるでしょう。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【マーケット・トピック】

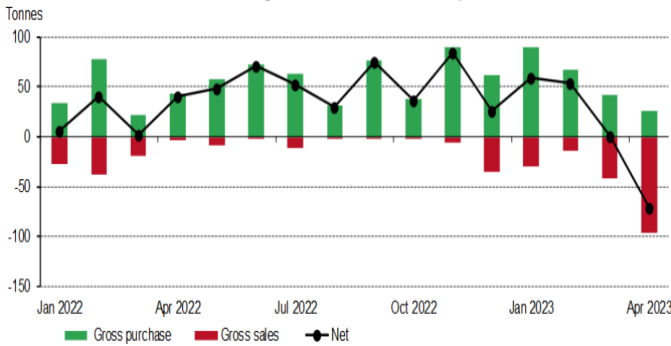
「中央銀行4月はゴールド売りに」

昨年から今年Q1にかけて大きくゴールドを買い越してきて中央銀行が、4月に一転売りにまわりました。これは、トルコの中央銀行が80トンものゴールドを売ったためにネットの売買数量も70トンという大きな数字になったものです。しかしこの売りはトルコ一国独自の一時的なものであり、中央銀行の全体のゴールドの買いの流れを変えるものではありません。トルコ国内でのゴールドの需要（地金、コイン、宝飾）が、一時的なゴールド輸入禁止の後も非常に旺盛だったため、それに対応して中央銀行が国内にそのゴールドを販売したということのようです。



Gold ETF残高とゴールド価格

Chart 1: Global central bank gold reserves fell in April*



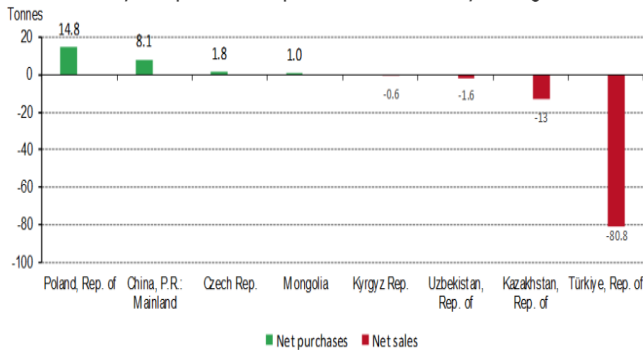
Source: IMF IFS, respective central banks, World Gold Council

*Data as of 28 April 2023.



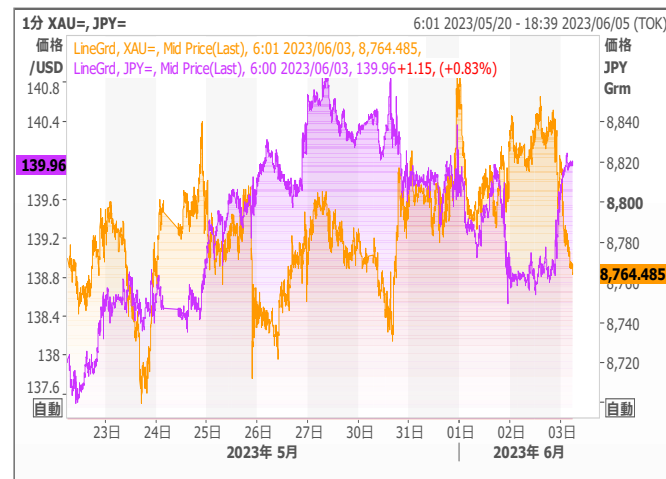
米長期金利とゴールド

Chart 2: Türkiye's April sale eclipsed all other activity during the month*



Source: IMF IFS, respective central banks, World Gold Council

*Data as of 28 April 2023. Note: chart only includes purchases/sales of a tonne or more.



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

